

燃料部

福島県JA-SSS 運営者研修会を開催

2月20日(火)に郡山市の清稜山倶楽部において、『平成29年度福島県JA・SSS運営者研修会』を、県内JA・SSS関係者総勢60名参加のもと開催しました。本研修会は、石油情勢や業界動向等を踏まえ、次年度の本会事業方針・実施具体策を説明し、JAグループ福島石油事業における今後の方向性を示すものとして、毎年開催しています。主催者であるJA全農福島・佐藤勝則副部長の挨拶後、研修に先立ち平成29年度品目別取扱優秀SSSへの表彰式を行い、揮発油の部・最優秀賞JA夢みなみ・玉川セルフSSSをはじめ、

各部門の栄誉を称えました。その後、「品質確保等」と「軽油免稅証の取扱」についての研修を行い、基調講演として「今後の石油業界とJA・SSSが生き残るために」をテーマに垣見油化㈱代表取締役社長の垣見裕司氏より講演をいただきました。自らSSSの運営に携わってきた経験談を踏まえ、従業員のやる気や満足度を高めながら、SSSの運営改善を図る手法をご教授いただきました。参加者は研修事項や基調報告、事例発表を熱心に聞き入り、お客様に支持されるSSSづくりを目指すことを再認識し、研修会を閉じました。



基調講演いただいた垣見氏

平成29年度品目別取扱最優秀SSS



JA 右側から		
油外商品総合の部	ジェイエイ新ふくしま燃料㈱	第二SSS
洗車(フル)の部	ジェイエイ新ふくしま燃料㈱	大森SSS
JA-OILの部	㈱ジェイエイサービスさがわ岩瀬	西袋SSS
灯油の部		
燃料油の部	JA会津よつば	みどり中央セルフSSS
タイヤの部		
軽油の部	㈱マックスサービスそうま	小高SSS
揮発油の部		
洗車(セルフ)の部	JA夢みなみ	玉川セルフSSS

株JAライフクリエイト福島

熊本県産「い草」100%使用の畳替え承り中!

最近の住宅は、和室が減少しており、それに伴い畳屋さんが少なくなってきました。畳の表面に使用されている、い草のほとんどが外国産で、国内産の畳表も減少しています。国内産の畳表の普及を目的として、畳表日本一の生産地である熊本県JAやつしろと提携し、信頼のおける安全・安心で健康的な畳表を使った畳替えを組合員の皆様にご提供します。

JAの畳替えは...

★熊本県「JAやつしろ」のい草を100%使用。JAやつしろからの産地直送のため、低価格で高品質を実現。住宅建材の中で体に害を及ぼすホルムアルデヒド等、様々な物質が問題になっ



い草の畳表

ていますが、熊本産の畳表は自然にこだわり、天然の染土のみを使用しているため健康に害を与えることがありません。自然でヘルシーな熊本産の畳表は安心してご利用いただけます。

★ご存知ですか?

畳の効能!

【省エネ】

お部屋の湿気を吸放出! 畳は天然のエアコンです!

【空気清浄】シックハウスの原因の化学物質を吸着!

【保温効果】

い草の中に空気が沢山含まれ、適度な温度を保ちます。

【抗菌効果】

フロアリングに比べ微生物白癬菌(水虫)が感染しにくい素材です。



お問い合わせはお近くのJAまたは、(株)JAライフクリエイト福島生活課・各営業所まで

園芸部

JA農産物直売所「愛情館」来店者数200万人達成!!

JA全農福島が運営するJA農産物直売所「愛情館」が、2月15日(木)にリニューアルオープン後の来店者数200万人を達成しました。

愛情館は郡山市朝日に平成13年6月21日にオープンしましたが建物の老朽化などにより、震災後の平成25年5月31日に新たな店舗を設けて、リニューアルオープンしました。平成28年5月13日には、新店舗の累計来店者数100万人を達成しましたが、このたび、200万人達成となりました。

200万人目の来店者となった庭山松夫さん・愛子さんご夫婦には、記念品として花束と福島県産米30kg(天のつぶ、コシヒカリ、ひとめぼれ 各10kg)、さらに福島県産野菜セットを贈呈しました。また、新店舗ご来店者200万人達成を記念して久寿玉割が行われ、拍手につつまれました。



今後とも愛情館をよろしくお願ひします!!

庭山さんは「愛情館には週に2回ほど来ている。突然だったのでとても驚いた。」と感想をお話してくださいました。

愛情館では「安全・安心・新鮮」な県産農畜産物を取り揃えてまいりますので、今後ともご愛顧をお願いいたします。

畜産部

JAグループ養豚飼養者協議会全体研修会を開催

JAグループ養豚飼養者協議会並びにJA全農福島は、2月2日(金)〜3日(土)に、郡山市熱海町において「JAグループ養豚飼養者協議会全体研修会」を開催いたしました。全体研修会には、福島県、関係団体、JA及び生産者33名が参加し、協議会の渡辺会長による「防疫強化により消費者に喜んでもらえる安心・安全な豚肉を生産して参ります」との力強い挨拶ではじまりました。

挨拶の後、「第40回JAグループ肉豚共励会」の審査講評と表彰式が行われ、最優秀賞を受賞された須藤福男氏(JA夢みなみ)を筆頭に、6名の生産者が表彰されました。また、福島県をはじめ、後援いただいた関係団体から、賞状並びに記念品が贈られました。審査講評では、

福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場の小田康典分場長より「枝肉の上物率が65.7%となり、昨年度よりも4.2%向上している。気候変動が激しい中、飼育環境の改善と適正出荷に努められた成果」と講評をいただきました。

その後、全農畜産サービス(株)南東北営業所佐藤仁氏を講師



講演会の様子



最優秀賞を受賞された須藤福男氏

に、「ハイコープ豚の改良」について講演いただきました。多産系の改良が確立した現在、今後は収益向上を目指して少ない飼料で早く発育する改良や、子豚の生存率・離乳率向上を目指してゲノム育種で迅速な改良を行っていること、種豚雄の筋肉内脂肪割合向上のために遺伝子解析を行い、2年後には改良された豚の供給を目指していることなどを、講演いただきました。生産者からは、次世代種豚の早期供給を希望する意見が述べられ閉会となりました。

JA全農福島は、今後とも福島県産農畜産物の安全・安心についてPRし、風評被害払拭と福島県畜産事業の復興の後押しをまいります。